

基盤研究「フィールドワーク」

2013年3月21日

データ所得の体系化 —農業・農村地理学のフィールドワーク—

筑波大学生命環境系
田林 明

説明手順

過去10年ほどの間に報告者が研究・調査をしてきたフィールドで、実際にどのように調査を行い、どのようにデータを収集し、それを分析・地図化して論文を作成したかを整理する。また、新たな地域調査を実施するなかで、調査法とデータ収集法を工夫する。全体の計画は以下の通りである。本日は下の3つの事例で説明する。

- 1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順
- 2.胆沢扇状地の稲作農村における調査手順
- 3.静岡市の石垣イチゴ地域における調査手順

全体の計画

首都圏

- ・首都圏の都市化農村と新しい都市形成(守谷市)→土地利用図の整理
- ・南関東の稲作農村・畑作農村(成田市北須賀地区、十余地区)→調査手順の整理
- ・関東平野の畑作農村(古河市古内地区、筑西市下星谷地区)→調査手順の整理

中間地域

- ・石垣イチゴ地域(静岡市増地区)→今回の発表
- ・那須地域の農村観光(那須塩原市・那須町)→調査手順の整理
- ・都市住民の農村へのITターの可能性(沼田市)→新規調査の可能性
- ・日立市の観光農村(日立市中里地区)→レポート完成
- ・北茨城市の漁業集落(北茨城市平潟地区)→レポート完成

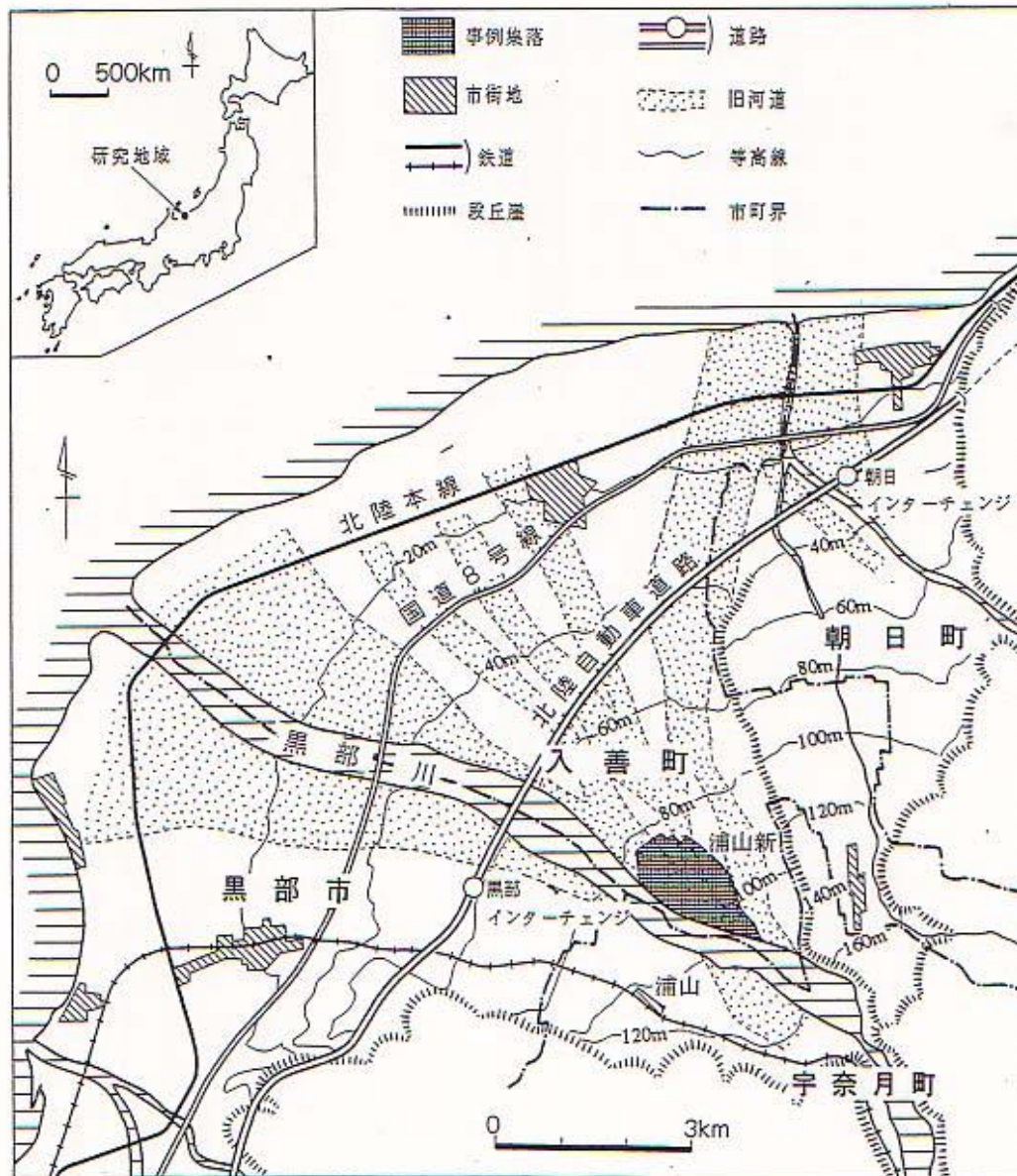
遠隔地域

- ・黒部川扇状地農村の調査手順についてのレポート完成
- ・黒部川扇状地の稲作農村(富山県入善町浦山新・古黒部地区、黒部市生地地区)→レポート完成
- ・胆沢扇状地の稲作農村(岩手県胆沢町屋白・香取・箸塚地区)→今回の発表
- ・朝日町のエコミュージアム(山形県朝日町)→レポート完成

1.黒部川扇状地における農村変貌 の調査手順

- 農業水利の調査をやっていた。→うまくいかない。
- 農民は当面の関心事である圃場整備を語りたがった。
- 高度経済成長期における農村変貌は、当時の農村地理学の課題としては、重要なものであることに気づいた。
- 圃場整備事業を契機とした農村変貌を課題とした。
- 農業水利で調査した4つの集落の中から、圃場整備の時期が早く、親切な人がいる集落を選んだ。
- 景観・土地利用、経済活動（農業と農外就業）、就業構造から農家と農村の変貌を調べる。
- ある農家の事例が、農村変貌の基本的なモデルとなると考え、研究を進めるための道筋をつくってくれた。

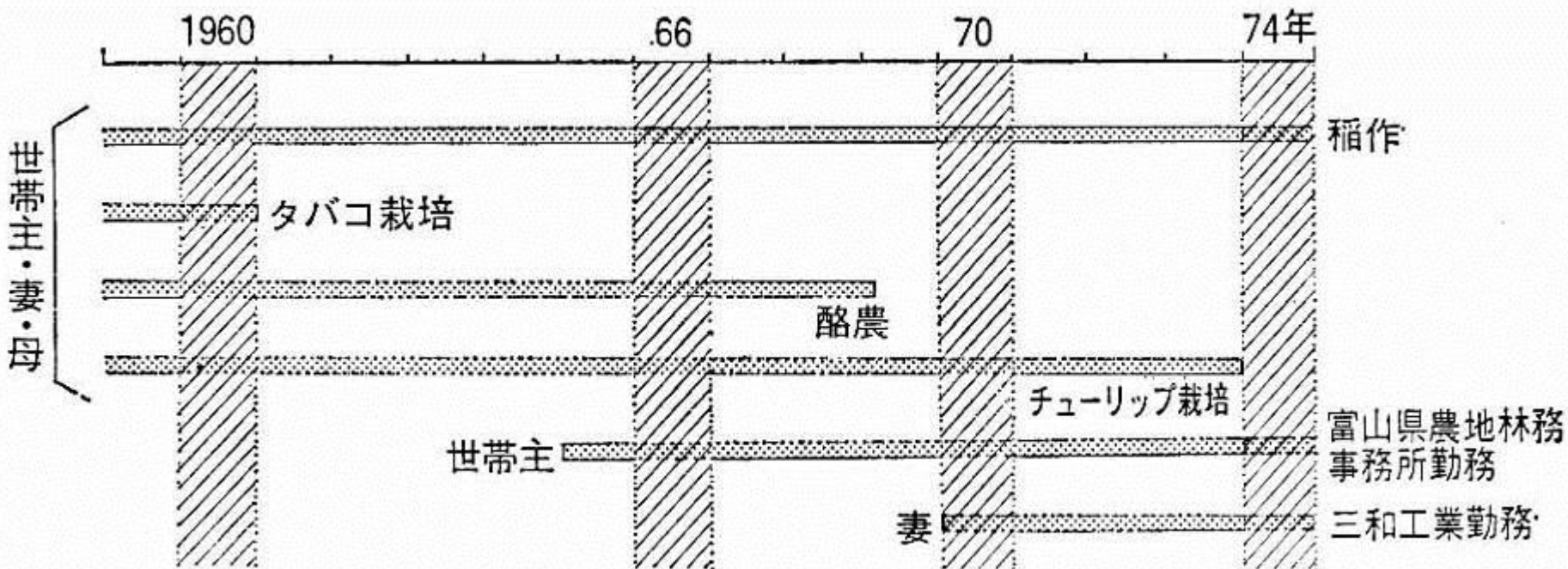
1. 黒部川扇状地における農村変貌の調査手順



黒部川扇状地の旧河道と入善町浦山新地区の位置

1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

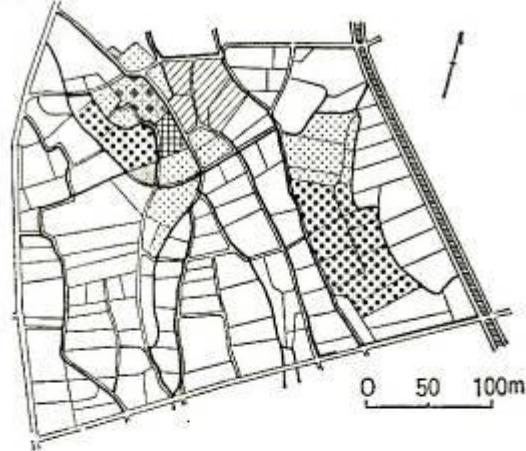
入善町浦山新地区のA農家の就業変化



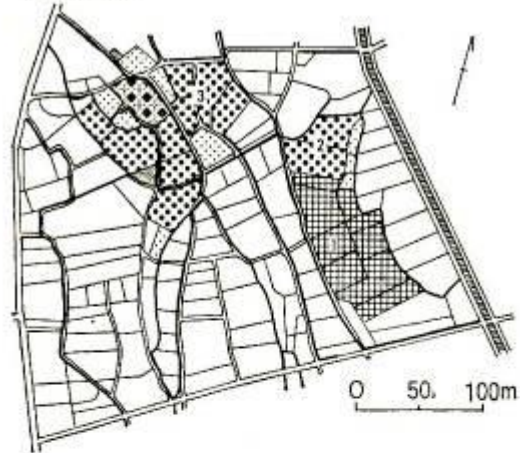
1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

入善町浦山新地区のA農家の土地利用変化

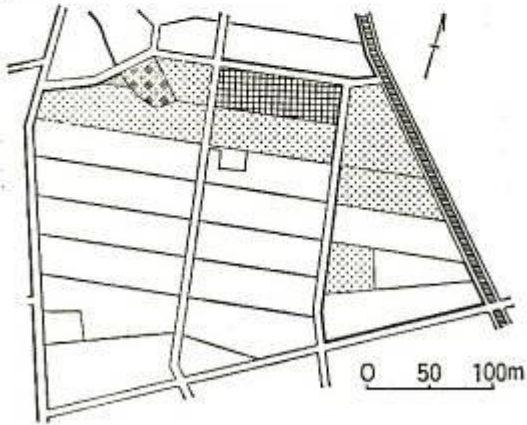
(A) 1960年



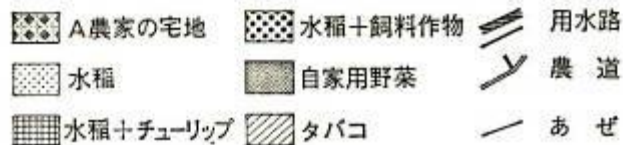
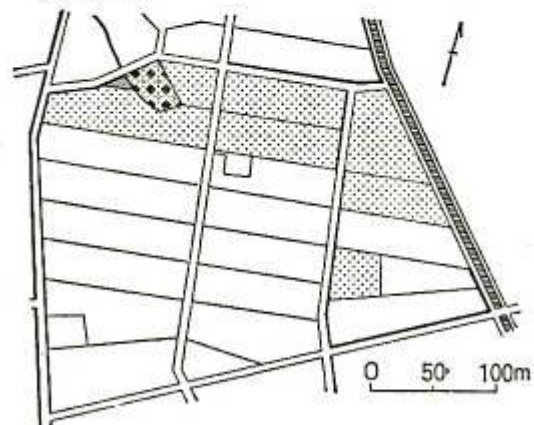
(B) 1966年



(C) 1970年



(D) 1974年

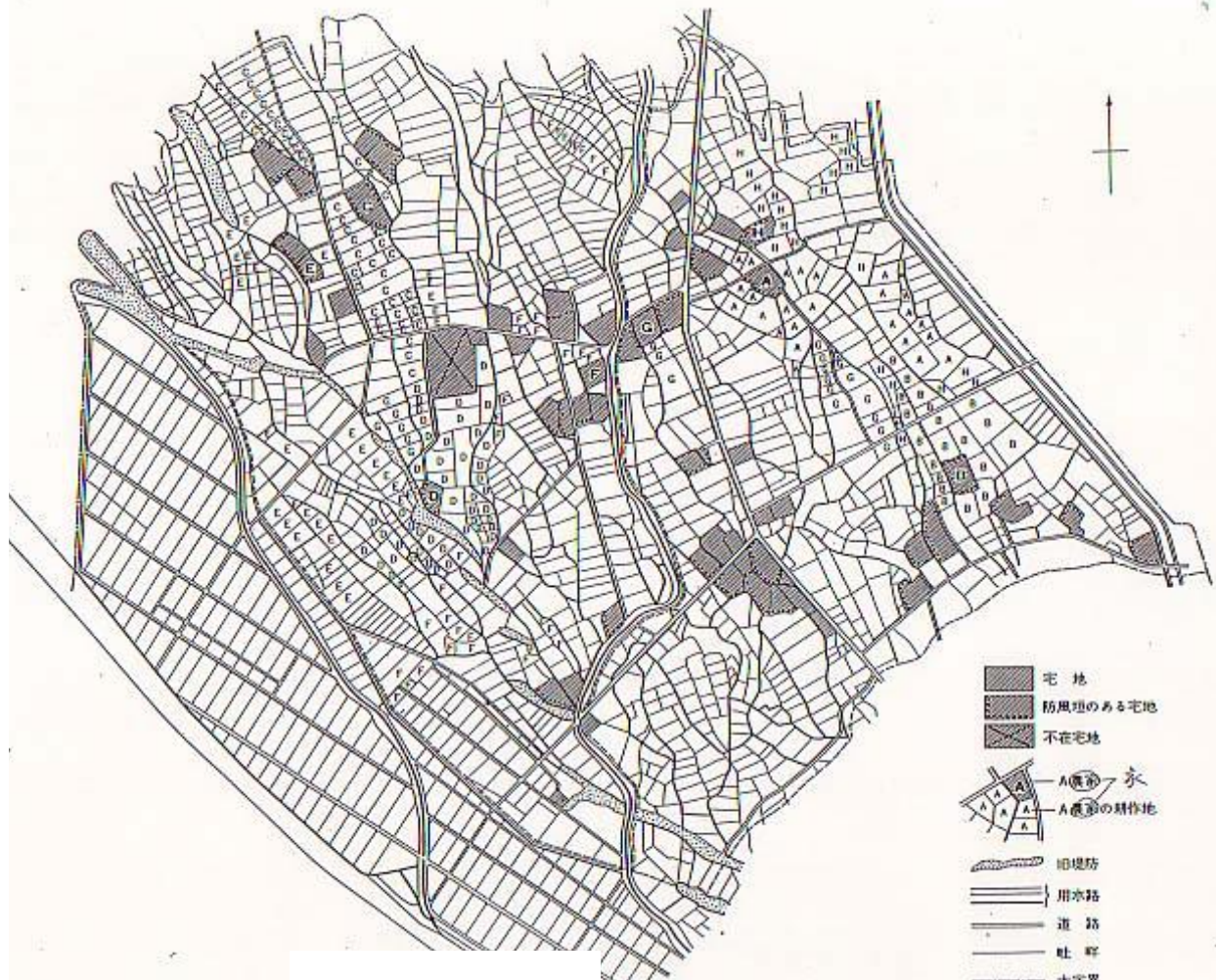


1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

イメージを実証するための集落・地域 データの収集

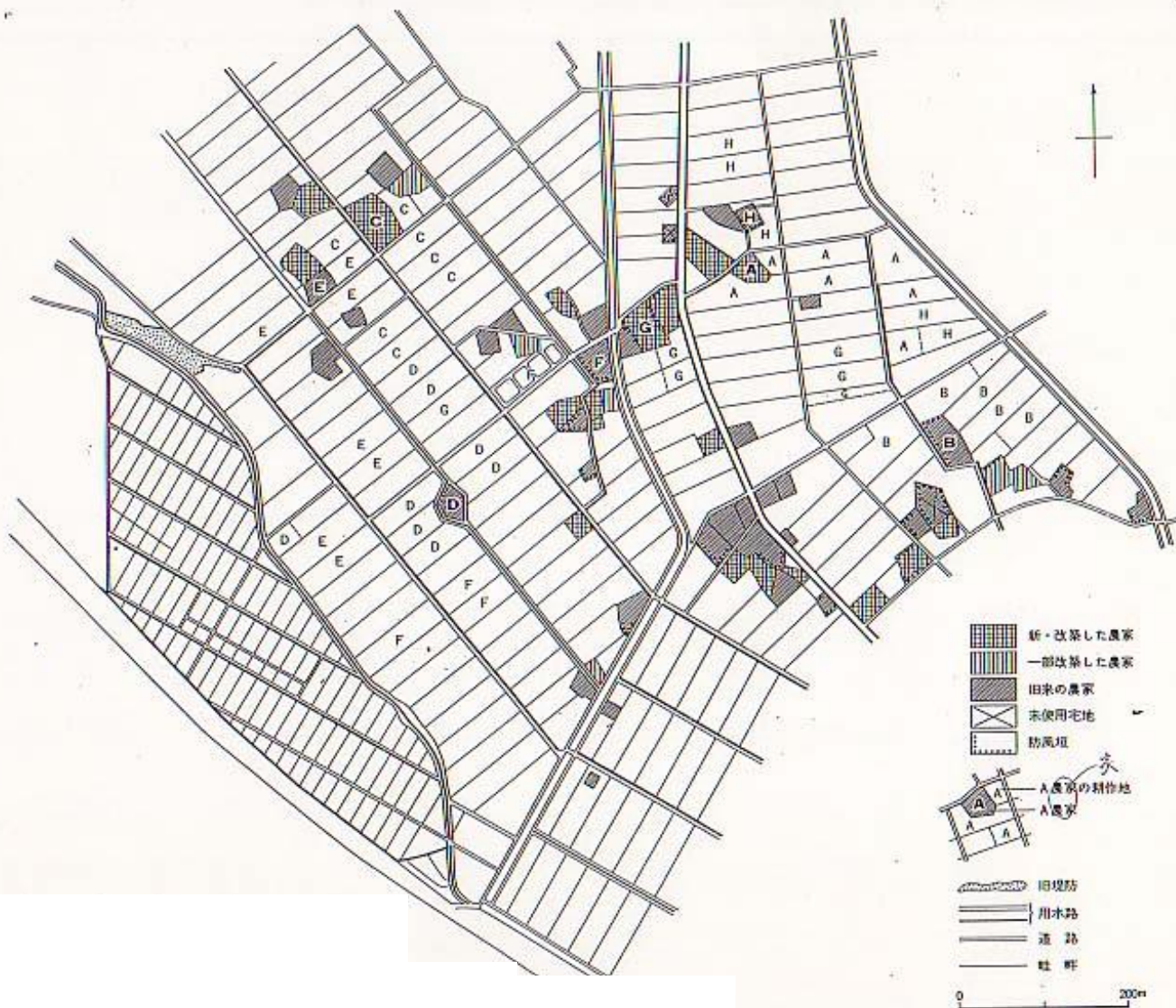
- 小地域の実証的研究では、イメージづくりが重要である。
- モデルとなった1つの農家で明らかになった景観と就業のデータについて、集落あるいは黒部川扇状地全体のものを集めることにした。すなわち、イメージを実証することにした。
- 稲作の省力化(土地改良区)、チューリップ球根(球根農協)と酪農(酪農農協)の変化のデータを収集する。
- 就業構造の調査、1967年は役場の資料、それ以降は聞き取り調査による。データの整理と図化。
- 世帯単位の就業の組み合わせとその変化という形で、農村変貌を記述することにした。

1. 黒部川扇状地における農村変貌の調査手順



入善町浦山新地区における圃場整備事業前の耕地と宅地(1964年)

1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順



入善町浦山新地区における圃場整備事業後の耕地と宅地(1974年)

1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

1969年8月入善町
新屋土地改良区撮影



1970年3月入善町新屋土地改良区撮影



1975年4月撮影



黒部川扇状地における景観変化

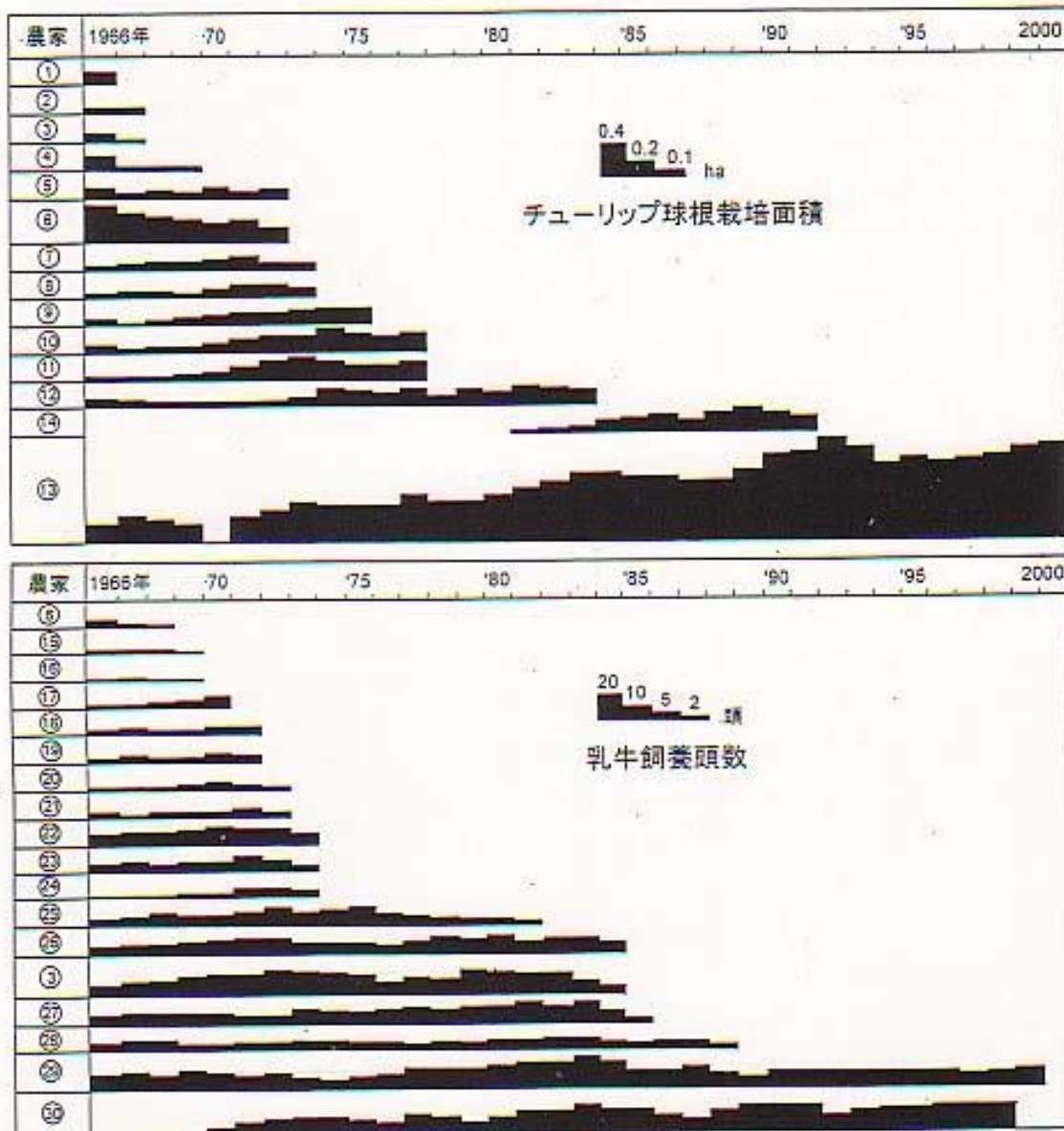
1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

水稻作所要時間の变化

	1965年		1971年		
	新屋地区	富山県	新屋地区(平均)	新屋地区(最低)	富山県
種子予措	0.5 人 力	0.3 時間	—	—	0.4 時間
苗代一切	6.0 共同苗代	5.8	6.0 育苗室	4.0 育苗センター	4.7
本田耕起 本田整地	11.5 人 力, 耕耘機	18.6	5.1 人 力, トラクター	2.1 人 力, トラクター	11.1
元 肥	3.7 人 力	7.1	1.7 人 力	1.2 人 力, 撒布機	3.9
田 植	22.7 共同・人 力	19.6	8.5 人 力, 田植機	7.0 田植機	15.7
追 肥	2.0 人 力	1.0	3.3 人 力	3.0 人 力	1.6
除 草	58.0 人 力	18.1	22.3 人 力, 除草剤	6.3 除草剤	9.1
灌排水管理	60.0 人 力 (1日2回)	17.3	27.5 人 力 (1日1回)	15.0 人 力 (2日1回)	12.6
防 除	4.5 撒布機	3.5	4.5 撒布機	2.0 撒布機	2.2
稲刈・稲こぎ	24.0 人 力, 動力脱穀機	51.3	7.0 小型コンバイン	2.0 小型コンバイン	28.2
もみ乾燥 もみすり	5.7 乾燥機, もみすり機	6.2	5.7 乾燥機, もみすり機	0.4 ライスセンター	5.3
合 計	198.6	148.8	91.1	37.3	94.8

資料：新屋地区は新屋土地改良区調べ
富山県は富山農林水産年報（1969～70），（1972～73）

1. 黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

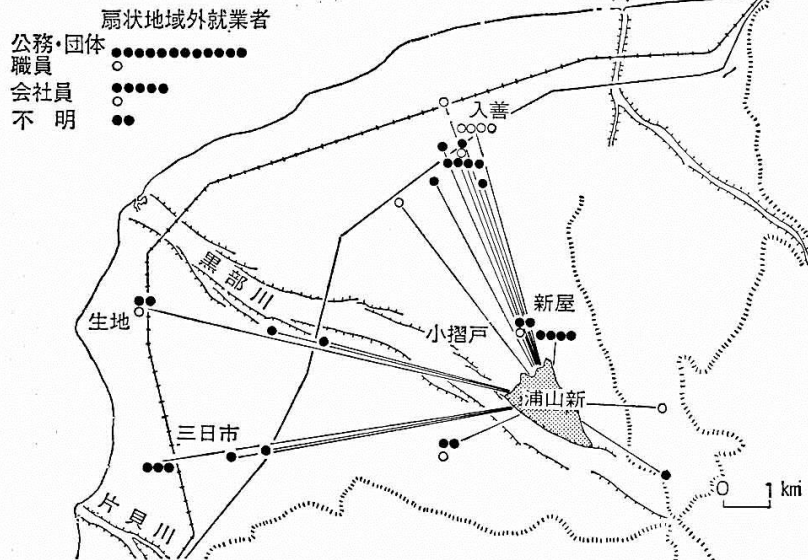


入善町浦山新地区におけるチューリップ球根栽培と酪農の推移

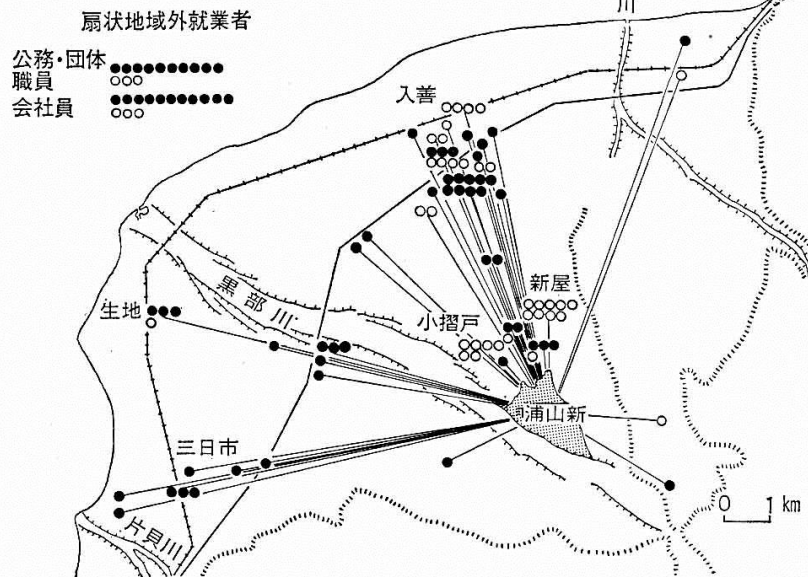
1. 黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

入善町浦山新地区からの恒常的勤務者の通勤先の変化

(A) 1967年



(B) 1972年



● 男子就業者(1人) --- 堤防 --- 北陸本線
 ○ 女子就業者(1人) 山麓線・段丘崖 — 国道八号線

1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

入善町浦山新地区における農家の就業構造の変化

(単位：戸)

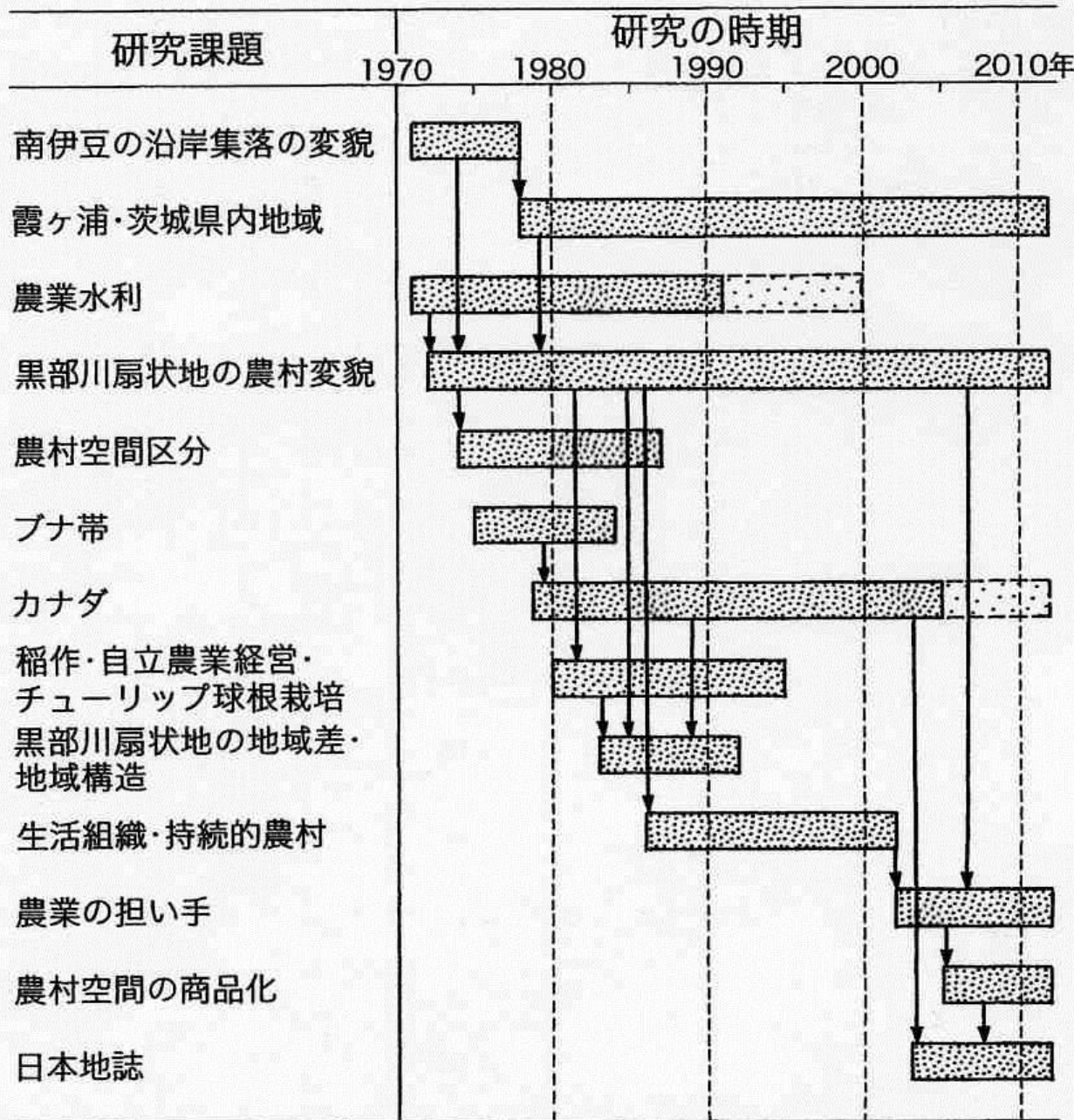
就業の組み合わせ		1967年	1972年	1983年
農業中心	農業	16	1	5
	農業+出稼(日雇)	37	23	9
		53	24	14
兼業中心	農業+出稼(日雇)+会社勤務(公務・団体)	25	33	24
	農業+出稼(日雇)+会社勤務+公務(自営)	0	4	7
	農業+会社勤務(公務, 自営)	21	36	49
		46	73	80
非農家	会社勤務, 公務, 自営, その他	7	8	14
合計		106	105	108

(聞き取りにより作成)

1.黒部川扇状地における 農村変貌の調査手順

研究の継続と 新しい展開

「黒部川扇状地
の変貌」の研究・
調査を起点として、
新しい研究課題に
取り組み、その後
の研究が展開して
いった。



4-1. 黒部川扇状地農村のさらなる変貌

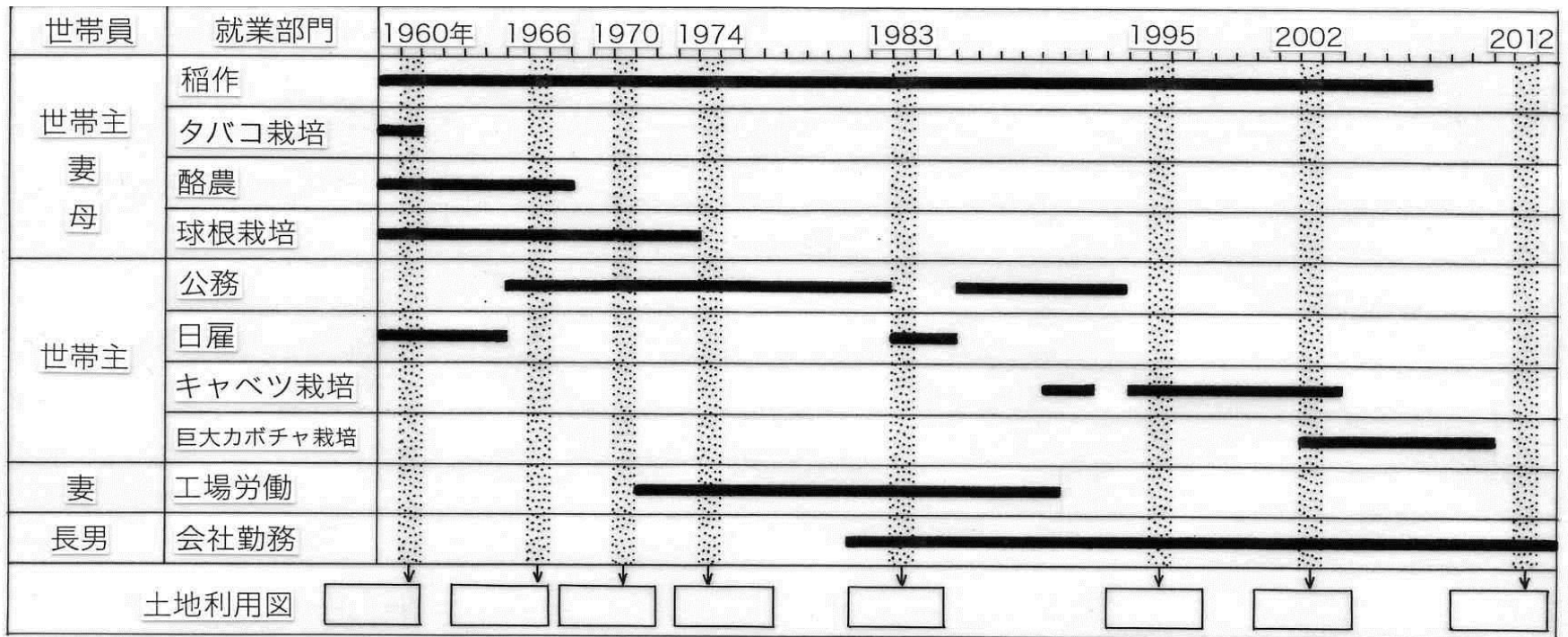


黒部川扇状地巡検(2012年9月)

1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

黒部川扇状地農村のさらなる変貌

－入善町浦山新地区の就業構造変化－



富山県入善町浦山新地区における A 農家の就業変化

1.黒部川扇状地における農村変貌の調査手順

黒部川扇状地農村のさらなる変貌 —入善町浦山新地区の就業構造変化—

(単位：戸(%))

就業の組み合わせ		1967年	1972年	1983年	1994年	2002年	2012年
農業中心	農業	16(15.1)	1(1.0)	5(4.6)	6(5.7)	5(4.7)	11(10.9)
	農業+出稼(日雇)	37(34.9)	23(21.9)	9(8.3)	6(5.7)	4(3.7)	3(3.0)
		53(50.0)	24(22.9)	14(13.0)	12(11.3)	9(8.4)	14(13.9)
兼業中心	農業+出稼(日雇)+会社勤務(公務・団体勤務)	25(23.6)	33(31.4)	24(22.2)	26(24.5)	16(15.0)	41(40.6)
	農業+出稼(日雇)+会社勤務(自営)	0(0)	4(3.8)	7(6.5)	6(5.7)	5(4.7)	2(2.0)
	農業+会社勤務(公務, 自営)	21(19.8)	36(34.3)	49(45.4)	40(37.7)	48(44.9)	1(1.0)
		46(43.4)	76(69.5)	80(74.0)	72(67.9)	69(64.4)	44(43.6)
非農家	会社勤務, 公務, 自営, その他	7(6.6)	8(7.6)	14(13.0)	22(20.8)	29(27.1)	43(42.6)
合計		106(100)	105(100)	108(100)	106(100)	107(100)	101(100)

(田林 (2003) および聞き取りにより作成)

2. 胆沢扇状地の稲作農村 における調査手順

- 胆沢扇状地では、現代の農村においてどのような形態の農業経営が行われ、それがどのように維持されているか、場所によって維持形態に差があるのか、また、将来的にどのように農業が存続していくと予想されるかを検討した。
- 平成11～13年度文部科学省科学研究費補助金地域連携推進研究費(1)「散村・小都市群地域の動態と構造に関する比較統合研究(代表:金田章裕)」による研究の一環として実施した。

2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

調査の手順(1)

- 地域調査の準備

文献の検討、新旧地形図・空中写真の入手

- 予備調査の実施(2000年3月)

扇状地全体の景観観察、胆沢町役場、水沢市役所、前沢役場、胆沢野平野土地改良区での農業についての聞き取り、市町史・関係資料の収集

- 予備調査の実施(2000年9月)

科研グループによる巡検・現地観察、胆沢役場、水沢市役所における景観、インフラ、歴史、人口動態、生活、経済、開発、地域の課題などについて聞き取り

2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

調査の手順(2)

- 予備調査によってわかったこと

一般的に農業はいまだに堅調に維持されているが最近になって一部の農村に農業離脱傾向がみられる。農業変化という点では様々な段階の農村が比較的狭い範囲に併存している。低位・中位・高位の段丘と市街地との近接性が農業の地域差を規定している。

- 農業集落の類型化

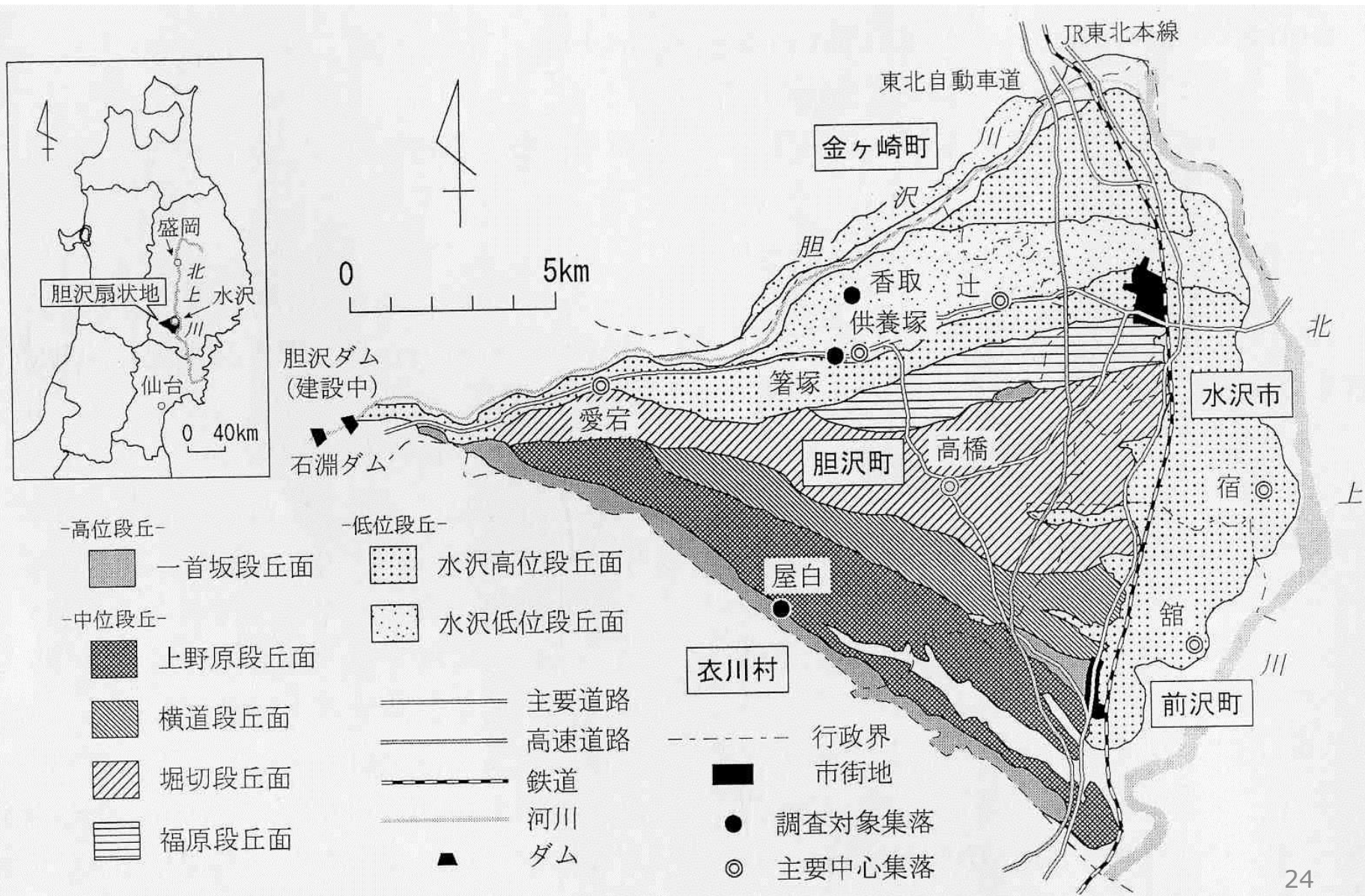
農業集落カードの農家、労働力、兼業、経営規模、土地利用、家畜飼養、稲作請負、農業機械に関する35のデータを用い、因子分析とクラスター分析によって214の集落を農業的集落、中間的集落、非農業的集落の3つに分類

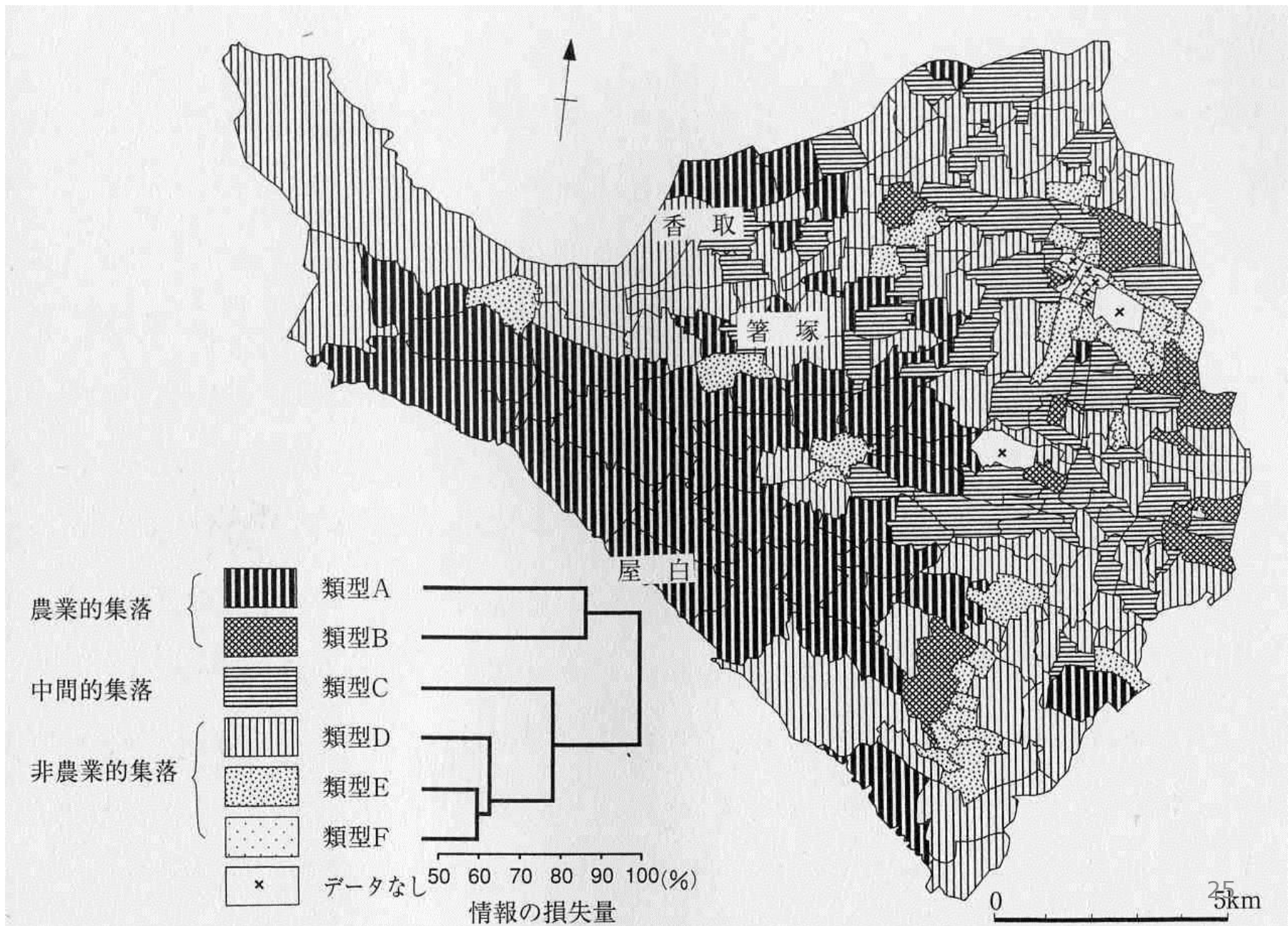
胆沢扇状地の 散村景観

エグネ(屋敷林)とキヅマ(たきぎ)



胆沢扇状地の地形と調査集落





2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

調査の手順(3)

- 事例集落の選定

胆沢町企画政策室の協力を得て、農業的集落の事例として屋白地区(類型A)、中間的集落の事例として香取地区(類型C)、非農業的集落の事例として箸塚地区(類型D)を選び、さらには聞き取り対象者を紹介してもらった。

- 事例集落での聞き取り

集落のリーダー的農家3~4戸から、集落の歴史と特徴、農業経営、農業経営の推移、農業の維持形態、農外就業、コミュニティ活動、全戸数の就業構造と農業の維持形態について聞き取りをした。

- 農家基本台帳(農業委員会)の転写

それぞれの集落の個々の農家の土地所有と所有耕地を把握するために、農家基本台帳の転写を許可してもらおう。現在では不可能。

2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

胆沢町屋白地区における農業経営(2001年8月)

就業類型	世帯番号	性別年齢別世帯構成員														所有耕地							農業経営部門			農業維持形態	
		18~29		30~39		40~49		50~59		60~69		70~		ha							水稻	野菜	肉牛				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	0	1	2	3	4	5	6				7			
農業主体	1					●	●					●	●										○				A
	2	×						◎	◎					◎	◎								○		○		A
	3				□			◎	◎					◎	◎								○	○			A
	4						◎	◎															○		○		A
	5						◎	□				◎	◎										○		○		A
	6	□	×					◎	◎														○		○		A
	7				□							◎	◎										○				A
	8								◎	◎					●	◎							○				A
	9						◎	□					◎	◎									○	○			A
	10				□								◎	◎									○		○		A
	11						◎	□					◎	◎									○				A
	12	×							◎	◎													○				A
	13						□						◎	◎									○		○		A
	14						□							◎	◎								○	○			A
	15									●	◎				●	●							○				A
	16								◎	◎					◎	◎							○				A
	17						◎	◎	◎				◎	◎									○	○			A
農業副次	18	×	×	×		□	◎							●	◎							○		○		A	
	19	×			×			□	□					◎	◎								○		○		A
	20	□				□	□						◎		◎	◎						○		○		A	
	21				□	□						◎											○		○		A
	22	×	×	●				□	□														○				A
	23					□	□						◎										○				B
	24				□	×						◎	◎										○		○		A
	25						□			×	◎				●	◎							○				A
	26						□					◎	◎		●	●							○				B
	27								□	◎					●	●							○				A
	28					×		×	□						●	●							○		○		A
	29						□	×						◎									○				A
	30					×	×						◎	◎									○		○		A
	31					×	□						◎	◎									○		○		A
	32	×	×						□	□					●								○				A
	33	×							□	□						◎							○				A
	34	×	×						□	□					◎	◎							○		○		A
35							□	□				◎	◎									○				A	
36						×						◎	◎									○				B	
37	×					□	□					◎	◎		●							○				A	
38	×	×				□	□							◎	◎							○		○		A	
39	×					□	□							◎	◎							○				B	
40						×								◎	◎							○				A	
41						□						◎	◎									○				A	
42	×	□	□								◎	□										○				A	
43						×	×						×	◎								○				A	
44						×	×					◎	◎									○				A	
45						×	×					●	◎									○				B	
非農業	46							×	×					●												C	
	47							×	×					●												C	
	48													●												C	
	49													●												C	
	50													●												C	
	51						×	×							●												C

● 農業
 ◎ 農業(主)+農外就業(副)
 □ 農外就業(主)+農業(副)
 × 農外就業
 ● 家事・無職
 田
 畑
 30~39: 年齢

A: 自家で維持
 B: 部分委託
 C: 全面委託もしくは作付放棄

2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

胆沢町屋白地区の景観



2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

胆沢町香取地区の景観



01 7 29

2. 胆沢扇状地の稲作 農村における調査手順

胆沢町屋簀塚 地区における 農業経営（ 2001年8月）

就業 類型	世帯 番号	性別年齢別世帯構成員														所有耕地				農業経営部門			農業維持 形態
		18~29		30~39		40~49		50~59		60~69		70~		ha				水稲	野菜	肉牛			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	0	1	2	3				4		
農 主 体	1											●	●						○			A	
	2											●	●						○	○		A	
	3											●	●						○			B	
農 業 副 次	4				□	×						●	●						○			A	
	5		×××				□	×											○			A	
	6	×	×				□	●											○			A	
	7			×	×					●	●								○			A	
	8					×	●												○			A	
	9								□	□									○			B	
	10						□	×											○			A	
	11	×	×				□												○	○		A	
	12	×					□	×											○			A	
	13								●			□							○			A	
	14						□				●	●							○		○	A	
	15									×	●								○			B	
	16						□	×											○			A	
	17			×	●				●	□									○			B	
	18				□	×													○			B	
19					×					●								○			B		
20	×	×				□	□											○			B		
21	×							●	×									○			A		
22					×				●	□								○	○		B		
23										□	×							○			A		
非 農 業	24	×	×					×										○			B		
	25							×	×										○			C	
	26				×					●	×								○			C	
	27									●									○			C	
	28																		○			C	
	29										×								○			C	
	30																		○			C	
	31						×	×											○			C	
	32								×	×									○			C	
	33								×	●									○			C	
	34																		○			C	
	35											●	×						○			C	
	36										×	×							○			C	
	37																		○			C	
	38																		○			C	
	39									×									○			C	

● 農業

× 農外就業

田

A: 自家で維持

◎ 農業(主)+農外就業(副)

● 家事・無職

畑

B: 部分委託

□ 農外就業(主)+農業(副)

30~39: 年齢

C: 全面委託もしくは作付放棄

2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

胆沢町箸塚地区の景観



2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

調査の手順(4)

- 胆沢扇状地における農業の存続形態(分析)

3つの事例から、現在と近い将来の農業の存続形態をまとめる。それぞれの農家が自立農業経営を行っている集落、多くの農家が農業を中止し専業業農家に作業委託をする集落、その中間的集落。

- 胆沢扇状地における農業維持形態の意味(事例地域の現象をいかに解釈するか)

大規模借地農が卓越する「西日本型」とそれが未形成な「東日本型」の併存。

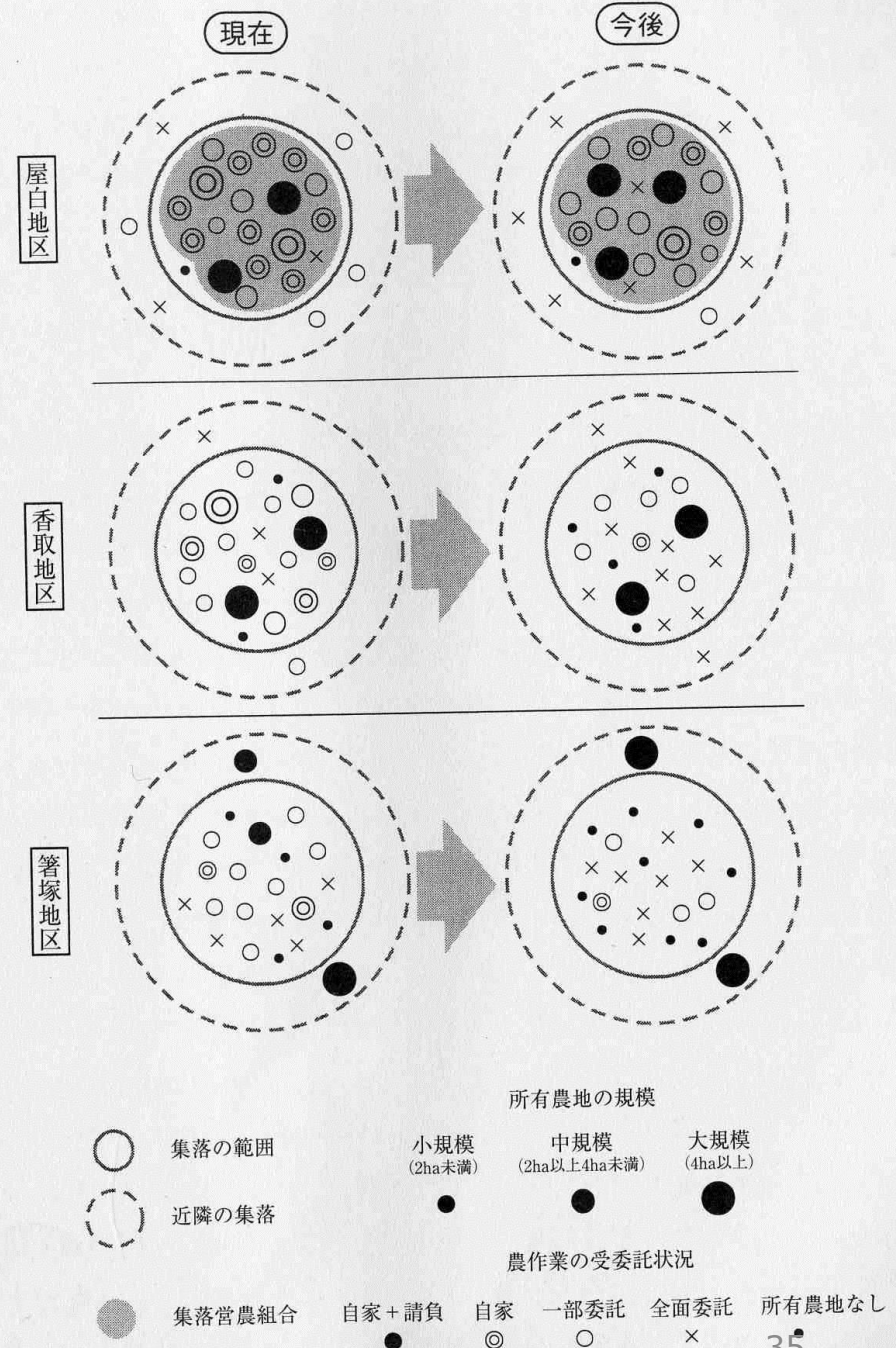
2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

胆沢扇状地の事例 集落における農業 経営の比較(2001 年8月)

農業経営の属性		屋白	香取	箸塚
就業類型	農業主体	戸 % 17 (33.3)	戸 % 7 (28.0)	戸 % 3 (7.7)
	農業副次	28 (54.9)	15 (60.0)	20 (51.3)
	非農業	6 (11.8)	3 (12.0)	16 (41.0)
	合計	51 (100)	25 (100)	39 (100)
経営部門	水稲作	戸 % 26 (57.8)	戸 % 13 (59.2)	戸 % 20 (87.0)
	水稲作+野菜栽培	5 (11.1)	6 (27.3)	2 (8.7)
	水稲作+花卉栽培	0 (0)	1 (4.5)	0 (0)
	水稲作+葉タバコ栽培	0 (0)	1 (4.5)	0 (0)
	水稲作+牛飼養	14 (31.1)	1 (4.5)	1 (4.3)
	合計	45 (100)	22 (100)	23 (100)
所有農地規模	集落平均	2.88ha	2.36ha	0.96ha
		戸 %	戸 %	戸 %
	0～1 ha	3 (6.7)	4 (18.2)	14 (61.0)
	1～2 ha	11 (24.4)	8 (36.3)	7 (30.4)
	2～3 ha	12 (26.7)	4 (18.2)	1 (4.3)
	3～4 ha	11 (24.4)	2 (9.1)	1 (4.3)
	5 ha～	8 (17.8)	4 (18.2)	0 (0)
合計	45 (100)	22 (100)	23 (100)	
農業労働力	農業のみ	人(人/戸) 79 (1.76)	人(人/戸) 34 (1.55)	人(人/戸) 25 (1.08)
	農業(主)+農外就業(副)	10 (0.22)	1 (0.05)	1 (0.04)
	農外就業(主)+農業(副)	45 (1.00)	22 (1.00)	19 (0.83)
	農外就業のみ	36 (0.80)	12 (0.54)	26 (1.13)
	家事・無職	18 (0.40)	4 (0.18)	8 (0.35)
	合計	188 (4.18)	73 (3.32)	79 (3.43)
農業維持形態		戸 %	戸 %	戸 %
	自家で維持	40 (78.4)	19 (76.0)	15 (38.5)
	部分委託	5 (9.8)	3 (12.0)	8 (20.5)
	全面委託・作付放棄	5 (9.8)	2 (8.0)	4 (10.3)
	所有耕地なし	1 (2.0)	1 (4.0)	12 (30.7)
合計	51 (100)	25 (100)	39 (100)	

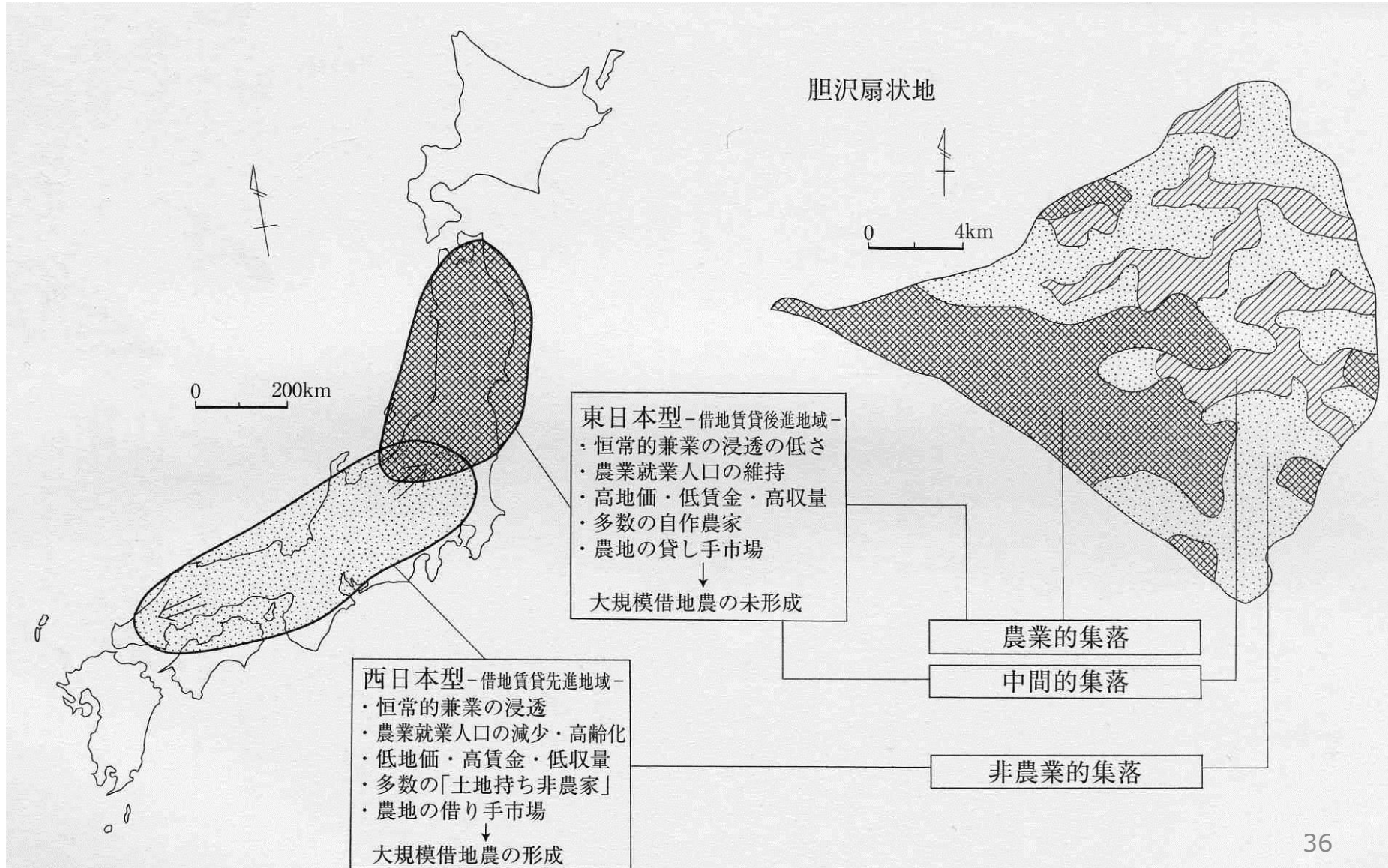
2. 胆沢扇状地の稲作農村における調査手順

胆沢扇状地における農業の存続形態



注：集落外の農家は集落内の農家と受委託関係にあるものを示した。

胆沢扇状地における農業維持形態の意味



3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順

調査の手順(1)

この研究は石垣イチゴの摘み取りを中心とした観光農業が盛んな静岡市久能地域を取り上げ、農村空間の商品化がどのように進み、商品化された農村空間がどのような性格をもつように至ったかを明らかにする。

- **最初の調査** (1971年7月 東京教育大学大学院地誌学野外実験)

有名な石垣イチゴ地域はどのようになっているのかを調べようという単純な動機。土地利用と農業経営の聞き取り。丁度観光農業が始まる時期であった。

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順

調査の手順(2)

- 2004年度教育研究科地理学野外実験（日本平を中心とする地域の地誌学調査） 東斜面の茶業を調べる
- 農業の維持形態調査の予備調査（2006年5月）
明治期以降高い生産性を維持してきた農業地域のメカニズムを明らかにしようとした。景観観察、萩原農園での聞き取り、JAしみず、JA静岡市での聞き取り。
- 現地調査（2007年6月）
 - 1) 事例集落の選択
 - 2) 個別経営の観光農園で聞き取り
歴史、現在の観光農園経営、農業技術、施設、労働力
 - 3) 共同経営観光農園での聞き取り
歴史、現在の観光農園経営、農業技術、施設、労働力

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順

調査の手順(3)

- 現地調査(2007年6月)
 - 4) 全世帯の就業状況調査、イチゴの経営内容
 - 5) 土地利用・景観調査
 - 6) 市役所・農協での統計・資料収集
 - 7) 図書館等で文献調査
- 資料の整理と論文の構成
 - 「農業維持形態」というよりも「農村空間の商品化」
 - 歴史的な経緯にそって、この地域の農業の変遷を追う。

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順



研究対象地域の位置



3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順



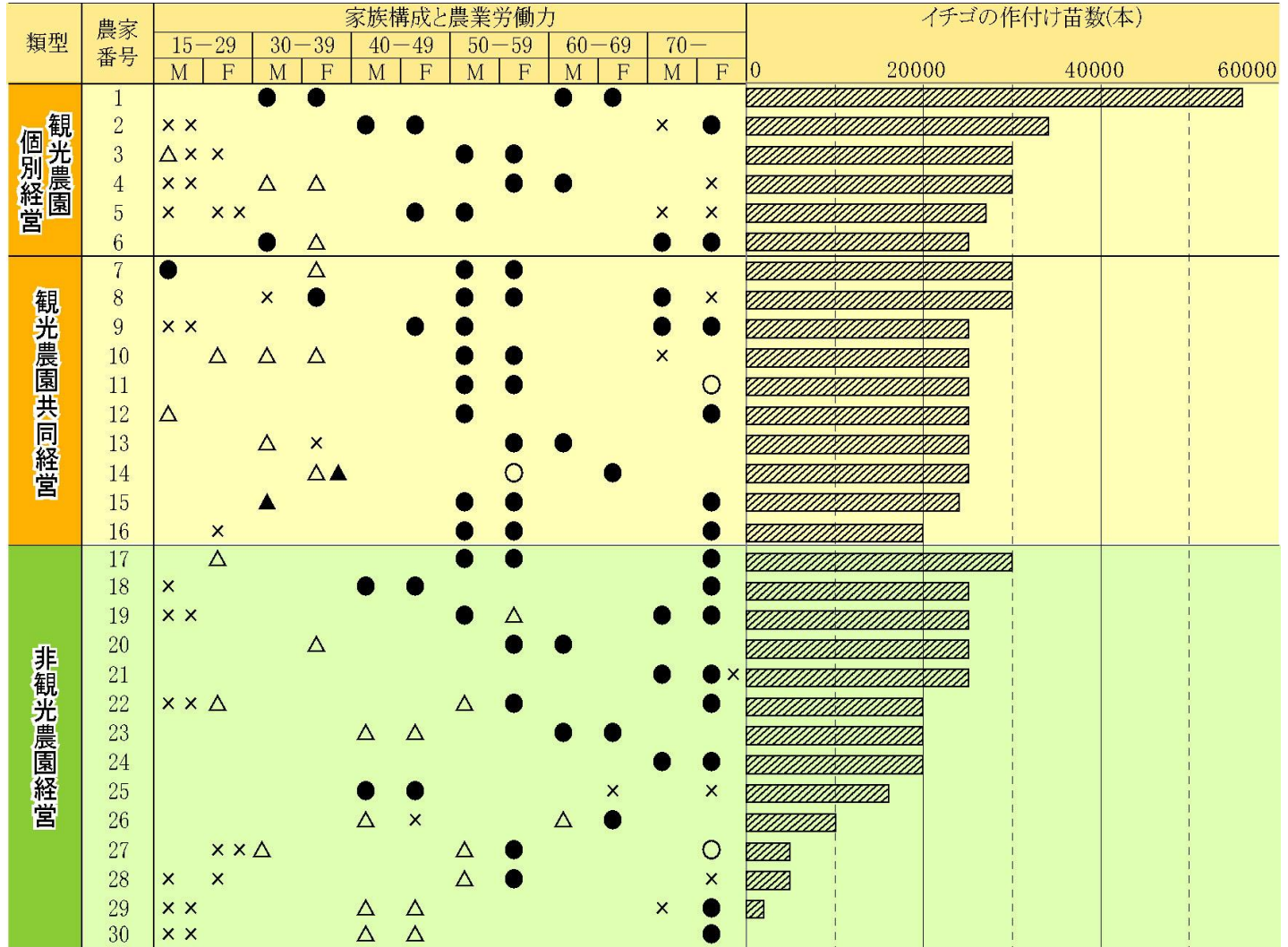
写真9. 観光農園の直売所と駐車場

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順



写真10. マル増いちご狩り組合(第1駐車場)

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順



●:農業専従者 ▲:農業補助者 △:農外就業者 ×:無職・就学者

図5. 静岡市増地区における石垣イチゴ生産農家の類型

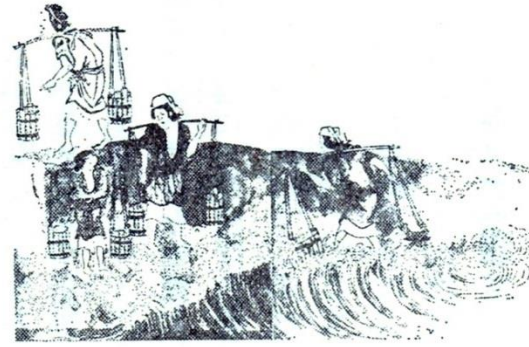
3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順

第1表 静岡市増集落における農村空間の変化

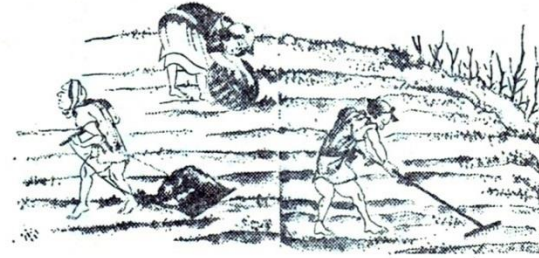
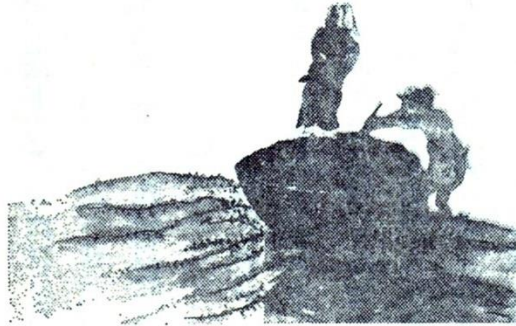
年代	明治中期以前	明治末期-1960年代前半	1960年代後半-1983年	1984年以降
時代区分	半農半漁期	早生イチゴ生産期	観光農園共同経営期	観光農園個別経営期
自然 (位置的条件を含む)	駿河湾・砂浜 有度山南麓急斜面・緩斜面・平坦地 冬季の温暖さ 静岡市の近郊	駿河湾・砂浜 有度山南麓急斜面・緩斜面・平坦地 冬季の温暖さ 静岡市の近郊 大都市圏への近接性	駿河湾 有度山南麓急斜面・緩斜面・平坦地 日本平 冬季の温暖さ 大都市への近接性	駿河湾 有度山南麓急斜面・緩斜面・平坦地 日本平 冬季の温暖さ 大都市への近接性
景観	穀物・イモ類畑 自給的野菜畑 果樹園 茶園 林地(薪炭用) 塩田(製塩工場) シラス板干し場 砂糖製造工場	玉砂利での石垣イチゴ(コンクリート石垣) 井戸 果樹園 茶園 促成栽培野菜畑 林地 増出荷組合共同出荷所 ビニルハウス 井戸	コンクリート板での石垣イチゴ ビニルハウス 農業用水タンク・灌水パイプ 大型駐車場 イチゴジャム加工場 増いちご狩り組合事務所	コンクリート板での石垣イチゴ ビニルハウス 農業用水タンク・灌水パイプ 大型駐車場 増いちご狩り組合事務所 直売所・受付所・休憩所・看板 農産物加工場 イチゴロード
商品	砂糖 イワシ・シラス 塩 果実 茶	石垣イチゴ	石垣イチゴ イチゴジャム	石垣イチゴ イチゴジャム・アイスクリーム 手作り商品・小物類 農村の自然と景観
アクター	内部	農漁家 行商人	農家 出稼ぎ女性(東北・北陸) 増出荷組合 清水市農業協同組合	増いちご狩り組合・観光農園共同経営農家 観光農園個別経営農家 非観光農園経営農家 パート労働者 清水市農業協同組合
	外部		高級果実小売店・問屋(東京・横浜) 青果市場	観光客(関東甲信越の個人客・団体客) 観光業者 通信販売・宅配顧客 青果市場
農村空間の商品化	生産の場としての農村空間			消費の場としての農村空間

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順

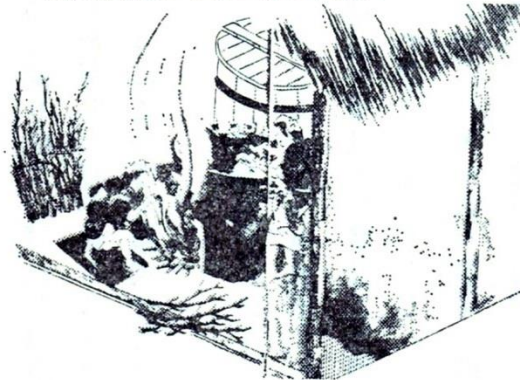
潮を大桶に汲溜め浜辺の砂をならし
其大桶の潮を柄杓にて砂上にまく



潮をまきたる砂を掻あつめ運ぶ



釜に入終夜煎しつめ米の糠を一掴ミ入る忽か
たまりて塩となる其潮よりかねる時糠を多く
入れ者塩あかし細かなるを佳とす



籠につめし砂へま
た潮を汲其上より
かける潮ハ籠の下
なる穴へ溜る是を
汲ミ入る

溜り潮を汲



図23 久能塩浜の図 (『駿国雑誌』14・天保14年)

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順. 石垣イチゴ地域における経済活動 の変化ー早期イチゴ生産期



石垣イチゴの収穫(1930年代:荻原苺園)

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順



マル増いちご狩り組合の観光キャラバン隊(1968年頃)

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順

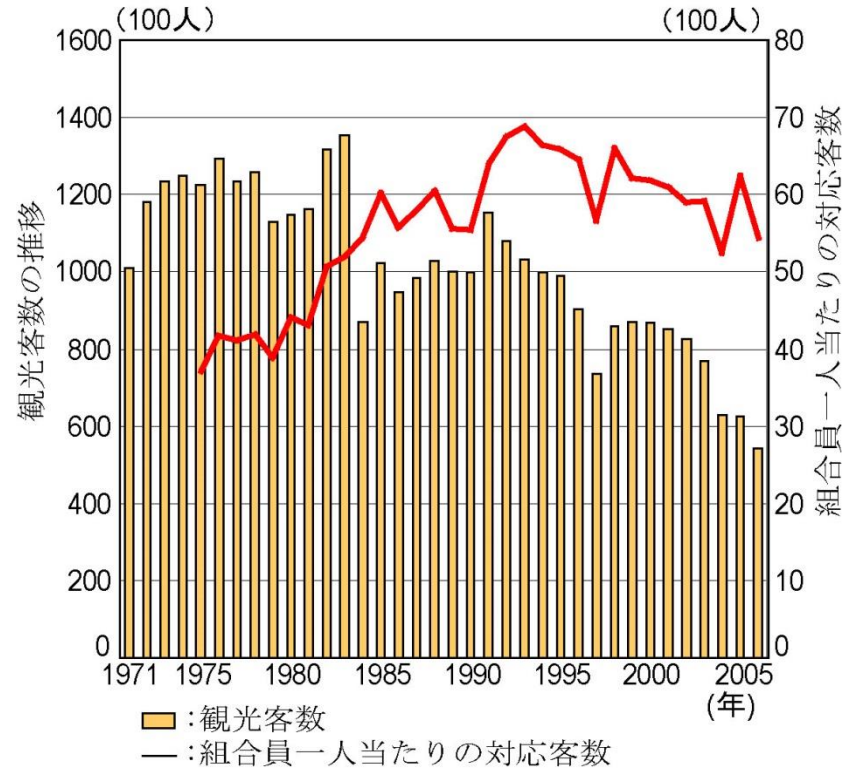
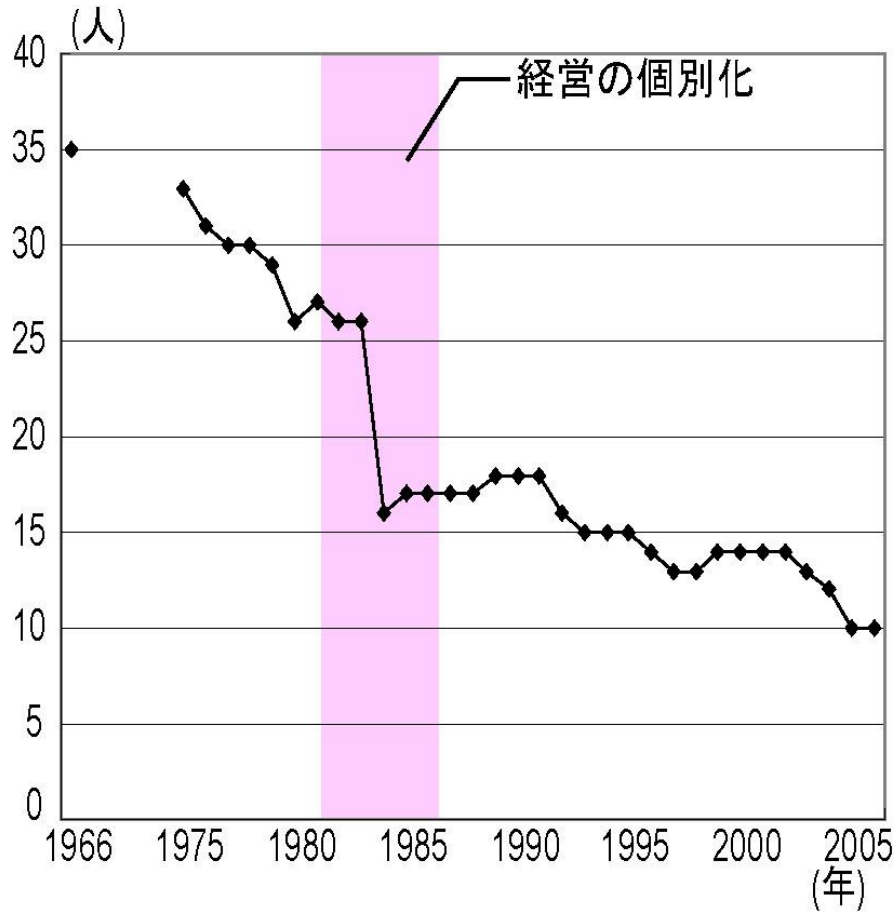


図3. マル増イチゴ狩り組合の組合員数と観光客数の推移

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順

調査の手順(4)

- いかに農村空間が商品化されたかを提示
Clout(1993)がイギリスの調査で示した(1)景観、(2)自然、(3)歴史、(4)家族志向、(5)手作り商品という5項目に対照させる。
- 観光農園のホームページの分析
- 「農村らしさ」という新たな付加価値を活用した観光農業の発展

3. 静岡市の石垣イチゴ地域の調査手順

第2表 観光農園経営にみる商品化された農村空間の特徴

		①いちご狩り組合	○農家(農家番号1)	A農家(農家番号4)	S農家(農家番号2)	Y農家(農家番号5)
施設	内容	直売所 駐車場(2箇所)	直売所 ガラスハウス休憩所 遊具 ベンチ	直売所・飲食所・休 憩所・展望台 遊具 ベンチ	直売所・喫茶店 受付所 ガラスハウス休憩所 ウッドデッキ休憩所 ベンチ	アイスクリームショップ (2箇所) ウッドデッキ休憩所
	直売所 の特徴	屋根(緑色) 外装(白色)	屋根(赤色) 外装(白色)	屋根(赤色) 外装(白色) イチゴのシンボル マーク	屋根(緑色) 外装(赤色) カントリー風の店内 イチゴと農村の壁画	屋根(緑色) 外装(オレンジ色) カントリー風の店内 イチゴのシンボル マーク
販売品目	手作り	石垣イチゴ イチゴジャム	石垣イチゴ イチゴジャム イチゴパフェ イチゴシェイク イチゴ大福 イチゴアイスクリーム	石垣イチゴ イチゴジャム イチゴ生ジュース イチゴアイスクリーム	石垣イチゴ イチゴジャム イチゴパフェ イチゴワッフル イチゴケーキ ハンドメイド洋装品	石垣イチゴ イチゴジャム イチゴアイスクリーム イチゴ最中 イチゴケーキ
	その他	イチゴ関連菓子類 小物類	イチゴ関連菓子類 小物類	イチゴ関連菓子類	イチゴ関連菓子類 小物類	-
ホームページの記載内容	景観	「地形上ビニールハウスはほとんど石垣ごとの一列のハウスになっております」	「晴れた日には、駿河湾の青と伊豆半島を御覧頂けます。高台から見下ろす風景は絶品です」	「目の前には駿河湾が広がり、天気が良いと伊豆半島の山々も望めます」	「石垣苺のハウスを眺めながらドライブ」	-
	自然	「斜面を利用して石垣の間に栽培することにより、万遍なく太陽の光を浴び、昼間暖められた石垣(ブロック板)が日没後まで保温の役目をしている」	「山の斜面を利用した立体的な栽培方法」「山と海にはさまれた狭い土地の有効利用のため、この栽培方法が広がりました」	「山の斜面を利用して石垣を積み上げ、その隙間に苗を植え栽培」「久能山の南向き斜面にハウス」「日本平南斜面に展る一大苺産地」	-	-
	歴史	「この地区では、エキセルショアー(明治時代)、ピクトリア(大正時代)、福羽(昭和始め)、堀田ワンダー」	「石垣イチゴとは、100年前から始まった」	「石垣苺の発生に増の萩原清作氏により明治四十年頃から始め」「当家の十五代によりコンクリート石垣が発明」	「最初に石垣苺の栽培を成功させた由緒ある農園」	-
	家族志向	-	「小さなお子様用にブランコを始めとする遊び場があります」「車椅子でのお客様が安心して御来園いただけるようリニアフリーにも心がけております」	「お子さんやお年寄りの方にもすぐに見つけられます」「園内のいたる所に椅子と机を置いてあります」「お子さまのためにはブランコを設置」	「(ヘレンケラーなど)伝記でしか知らない人が人が実際に足を運んだ土地にお子さんを連れてきてあげるのも一つの総合学習」	-
	手作り商品	「いちごに関連したお菓子やグッズ等、各種お土産を取り揃えて」「完熟したいちごで丁寧に手作りした評判のジャム」	「お土産用のイチゴやイチゴのデコレーションソフト・ジャム・イチゴシェイク・その他イチゴ関係のお土産」	「ママさんが夜、ことごと煮て作った苺ジャム!お土産人気No.1です」「手作りのジャムやワイン、各種お菓子も取りそろえて」	「採りたてイチゴの直売や手作りジャム、その他苺のお菓子などのおみやげ」「イチゴがかわいもハンドメイド品も多数」	「当社栽培石垣イチゴと富士山の麓の牧場より直送の牛乳を原料にしたオリジナルアイス」

注) 農家番号は第4図1)と対応